

東北地域向けの黒大豆

黒丸

- ◆ 栽培適地は、東北地域中南部です。
- ◆ 多収の晩生品種です。
- ◆ 倒れにくく、一番下の莢が付く位置が高いので機械化栽培に適します。
- ◆ 煮豆に適しています。

大粒で、煮豆に向く!



育成のねらい

黒大豆は、伝統的食品の煮豆などに利用されています。東北地域では、北海道の「いわいくろ」や京都・兵庫の「丹波黒」のように、広域で栽培される大粒の煮豆用の品種はありませんでした。そのため、東北など寒冷地向けで、倒れにくく機械化栽培しやすい、多収の黒豆品種「黒丸くん」を育成しました。

品種の活用面

子実は黒く大粒で、煮豆の加工に適しています。

栽培特性

倒れにくいうえ、一番下の莢が付く位置（最下着莢節）が高いので、コンバイン収穫しやすいなど機械化栽培に適しています。成熟期がほぼ同じ普通大豆と比べても多収です。



「黒丸くん」の草姿

主な生育・品質特性(平成24年を除く平成17～26年、育成地:秋田県大仙市)

品種名	成熟期 (月/日)	子実重 (kg/10a)	同左 標準比 (%)	倒伏程度	最下着莢 節位高	百粒重 (g)	粗蛋白質 含有率 (%)
黒丸くん	10/22	378	110	少	やや高	42.1	42.0
玉大黒(標準)	10/18	344	100	多	やや高	46.9	43.5
スズユタカ(比較)	10/17	358	104	中	中	26.4	39.7

栽培上の留意点

- ・成熟期は“晩生”で、栽培適地は主に東北地域中南部です。
- ・ダイズモザイクウイルス病およびダイズシストセンチュウに対する強い抵抗性はないので、これらが蔓延する地域での栽培は避けてください。
- ・晩生品種なので、降雪害を回避するため、成熟後は早めに収穫してください。



「黒丸くん」の子実

病虫害抵抗性

ダイズモザイクウイルスへの抵抗性は、A、B系統のみです。

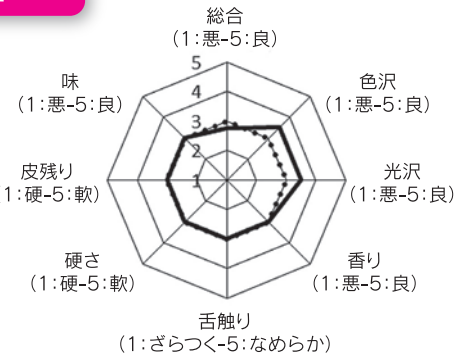
病虫害抵抗性(育成地および特性検定場所)

品種名	病虫害抵抗性		
	ダイズ モザイク病	ダイズシスト センチュウ	立枯性病害
黒丸くん	中	やや弱	中
玉大黒(標準)	強	弱	中
スズユタカ(比較)	強	強	—

「玉大黒」「スズユタカ」の病虫害抵抗性は品種登録時データによる。

加工特性

「いわいくろ」などと同等の煮豆の加工適性です。また、甘みもあり、食感の柔らかい寄せ豆腐や豆乳飲料などへの利用が期待されます。



— 黒丸くん

..... 標準品: 光黒(平成17年北海道産)、いわいくろ(平成18年北海道産)

「黒丸くん」の煮豆官能評価(平成17、18年、A社)

《種子入手先に関するお問い合わせ先》

東北農業研究センター 企画部 産学連携室 産学連携チーム
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構 連携広報部 知的財産課 種苗チーム
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-8233 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588
メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/

東北農研

検索

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。